学業・人物ともに優秀で、経済的に困難な学 生は、選考のうえ、奨学金の貸与を受けること ができます。 奨学金には日本学生支援機構(旧 日本育英会)の他に、地方公共団体・民間育英 団体の奨学金があります。

日本学生支援機構奨学制度は、人物・学業が 特に優れ且つ、経済的に修学が困難な学生に対 し、無利子又は有利子で学費の貸与を行う制度 で、校長の推薦を得て日本学生支援機構で奨学 生を決定します。奨学金は、採用年度、自宅・ 自宅外通学で異なり、貸与期間は5年間ですが、 成績不振や性行状況が奨学生として不適なとき

は交付が打切られます。種類は、定期採用と定 期外採用(家計急変時に採用)があり、日本学 生支援機構からの通知があり次第、掲示等でお 知らせします。借用額は、定めた期間内に返還 しなければならず、返還を怠ったときは延滞金 が科せられます。また借用額は相当額になるの で、申請に際しては充分考慮してください。

その他の奨学制度には、福島県、いわき市他 市町村、戸部育英会、あしなが育英会、交通遺 児育英会等の奨学制度がありますが、これにつ いても、通知があり次第、掲示等によりお知ら せします。

19日(土) 火曜振替授業

26日(土) 寮耐久レース

23日(金) 専攻科推薦入試

26日(月)~6月6日(金)

27日(日) 開講記念日

29日(火)公開授業

30日(水) 学生総会

23日(水) 寮防災訓練(1年)

第1回TOEICIP試験

(5年・専2年)

奨学制度についてのお問合せは 学生課学生支援係まで TEL:0246-46-0734

4月

6日(日) 開寮 7日(月)入学式

寮歓迎夕食会 8日(火)始業式

新入生オリエンテーション 定期健康診断(5年・専2年)

9日(水) 前期授業開始

11日(金) クラブ紹介 15日(火) 定期健康診断

16日(水) 基礎学力標準試験(数学)

5月

7日(水) TOEIC説明会 (3年、専1年)

14日 (水) 全校清掃日 校外清掃日

基礎学力標準試験 (化学)

21日(水) 後援会総会 春季学級懇談会 寮保護者会

編集後記

(社会人推薦も含む)

前期中間試験期間

今回は卒業特集です。多くの仲間が巣立って行きます。 私も広報委員長は卒業です。この一年で二回の学校便りを 送り出しましたが、いろいろな場面でバランスをとること の難しさを感じました。例えば誌面構成でも、「情報を伝 えること」と「デザイン」とは相反するところがあります。 また、記事でも「学校の顔としての威厳」と「現場の臨場 感」がそうです。そうは言っても、やってみなければ進化 はありません。できるだけ読者の皆様の要望に応え、若い 職員の意見を大いに取り入れました。化学には「ル・シャ トリエの原理」というものがあります。簡単にいうと、 「変化は好まないが、変化があれば新たな状況に合わせて 最良のバランスに落ち着く」ということです。学校便りも、 読者も皆様のご意見できっと最良のものに近づいて行くこ

とと思います。一年間ありがとうございました。



11日 (水) TOEICIP試験 (4年、専1年)

20日(金) 専攻科入試(学力)

7月

4日(金) 臨時休講 (開校記念日振替) 5日(土)~6日(日)

東北地区高専体育大会

23日(水) 月曜振替授業 23日 (水) ~25日 (金)

編入学 (推薦) 願書受付

24日 (木) ~30日 (水)

前期期末試験期間



PRINTED WITH 地球環境保護のために、 大豆油インキを使用しています。 RINTED WITH 地球環境保護のために、この冊子には 松ではり 第84号 2008.3 福島工業高等専門学校



次 Contents

- ** ***	
第四十二回卒業証書授与式	学生の活躍 ・・・・・・ 22
第三回専攻科修了証書授与式挙行 · · 2	クラブ紹介 ・・・・・・ 24
呪卒業・修了 ・・・・・・・・・・ 4	公 開 講 座25
学 生 会 · · · · · · · · · 17	卒業生・修了生の進路状況 · · · · · 26
高 専 祭18	退職者のことば28
学年行事20	とぴっくす30

回専



辞 告

福島工業高等専門学校長 奈良 宏一

卒業生、修了生諸君、保護者 の皆様、卒業・修了おめでとう ございます。

本日、ここに、櫛田一男いわ き市長様はじめ、多数のご来賓 と、卒業生・修了生の保護者の 皆様のご出席をいただきまして 卒業証書授与式並びに修了証書 授与式を実施できますことは教 職員一同の喜びとするところで ございます。本日、ご多用中に も関わらずご出席いただきまし たご来賓の皆様ならびに保護者 の皆様に厚く御礼申し上げます。

本日は第四十二回の卒業証書 授与式と第三回の専攻科修了証 書授与式と合わせて実施させて いただいておりますが、只今の 修了証書授与式の直前にこのホ テルの別室におきまして、専攻 科修了生全員に大学評価・学位 授与機構からの学位記を授与致 しましたことをご報告させてい ただきます。

本日、本校を巣立つのは、専

攻科修了生として、機械・電気 システム工学専攻8名、物質・ 環境システム工学専攻8名、ビ ジネスコミュニケーション学専 攻4名の計20名、並びに、本科 生として、機械工学科34名、電 気工学科38名、物質工学科40名、 建設環境工学科32名、コミュニ ケーション情報学科37名の計18 1名です。本科卒業生の中には 4名の留学生が含まれています。

保護者の皆様には、長い間の お子様の教育にかけたご苦労が 実り、本日のお子様の晴れ姿を ご覧いただいていることかと存 じます。感慨もひとしおかと拝 察申し上げ、また、これまでの ご苦労に敬意を表したく存じま す。誠におめでとうございます。

卒業生・修了生の諸君、諸君 が本日の佳き日を迎えることが できたのは、日々、勉学の努力 と精進を重ねた結果であります。 その努力に敬意とお祝いの気持 ちを表したく思います。諸君の

本日があるのは、諸君を育てる ために、これまでに絶え間なく そそがれてきたご家庭の皆様の 愛情と真心が、また、昼夜たが わず愛情を持って指導いただい た教職員の努力があったからで もあります。そのことを忘れず に、改めて、まわりの皆様に感 謝の気持ちを持っていただけれ ばと思います。

さて、これから諸君が活躍す る社会の現状について概観し、 諸君のこれからの役割について 考えて、餞に致したいと思いま

日本の飽和した経済の中で、 産業もグローバル化しました。 経済ばかりでなく、エネルギー や食料も含め、すべての事象を 地球規模で考えねばならない時 代です。今や、日本の技術は多 くの分野で世界を牽引していま す。エネルギー資源や鉱物資源 の無い日本は、今後も、技術分 野で世界をリードしていかねば、 日本の発展は望めません。諸君 はその最先端に立つことになり ます。社会に出ると、いきなり、 技術力やビジネス能力と語学力 が試され、諸君は世界共通語で ある英語と専門分野の勉強を、 卒業後も続けていくことが必須 だと感じるはずです。いくら英 語が得意でも、自ら相手に伝え る技術力や専門知識を持ってい なければ相手は聞いてくれませ ん。逆に、世界最先端の専門知 識や技術力を身につけていれば、 それを必要とする人は、仮に力 タコトの英語によってでも、筆 談によってでも、諸君の知識を 引き出したいと思うでしょう。 専門知識や技術力とコミュニケー ション能力のバランスが諸君の 実力を世に示す指標になるもの と考えます。福島高専で身につ けた専門基礎力や語学力は、専 門分野の進歩に追随いていくこ とや、国際舞台で活躍していく ことには十分なものです。それ

を基に、最先端の専門能力と適 度の語学力を維持し続けてくだ さい。そのような能力を維持す るためには、自らの能力の少し 上を見て、それに挑戦し続ける 必要があります。諸君には、何 事にも「できないことなど無い はずである」との信念を持って、 挑戦的であってほしいと思いま す。"Be Challenging"をキー ワードに、自己啓発を続けてく ださい。

また、Challengingな中にも、 福島高専で身につけた倫理感と 若者らしい正義感を忘れないで 下さい。たとえば、最近の話題 の中で、エネルギーと地球温暖 化は、諸君が今後念頭におくべ き重要な課題の一つです。今年 の夏に北海道の洞爺湖で行われ る地球環境について討論するサ ミットに象徴されるように、今 後の技術や産業は使用可能なエ ネルギーと地球環境による制約 が課されることになります。こ のような制約の中で、諸君は何 をなすべきか、何をしてはいけ ないかを的確に判断することを 求められます。諸君には、常に、 技術者倫理または社会人として の倫理観と専門分野の十分な知 識に裏打ちされた、的確な判断 をしていただくことを期待して います。

諸君のこれからの人生は、順 風満帆な日々ばかりではなく、 さまざまな苦労もあることかと 思います。しかし、諸君は、さ まざまな難問・難題を克服して 自らの人生を切り開くことが出 来るだけの力をこの福島高専で 得たはずです。福島高専で身に つけた能力は、これからの人生 で、必ずや諸君の力になるもの と確信しております。これから も健康に留意し、すばらしい明 日に向けて邁進(まいしん)して 下さい。

諸君のこれからの幸多い人生 を祈念して告辞と致します。













機

械

禾





漂えど沈まず

卒業おめでとう。

わずか一年間の担任であったが、「人間力」 に優れた学生諸君に囲まれ、充実した幸せな 時間を過すことができた。これは君達を大切 に育ててくれたご両親や、前担任の永井先生、 秋山先生の賜物だと思う。卒業は人生の一つ の節目として、こういった人達への感謝の機 会と考えてほしい。

さて、毎年、卒業式が近づくと色紙等に言葉を書くことが多くなるが、私は水泳部の顧問もしているので、ここ数年来卒業する部員のために標記の言葉を使うようにしている。水泳(競泳)では、スタートしてプールの途中で立つ(沈む)と失格となる。しかし、その種目の泳ぎ方で泳いでいれば、漂うようなスピードでも時間はカウントされ、ゴールすれば正式記録となるのである。

機械工学科 5年担任 松本 匡以

「漂えど沈まず」という言葉は、フランス 革命以前からのパリの街の市民憲章である (らしい)。繰り返される街の繁栄と荒廃、安 定と混乱を予言しているかのようである。ま た、この言葉は人生を考える上でも意味深い ものだと思う。使い古された表現で恐縮だが、 君達のこれからの人生を航海に喩えれば、高 波や強風等の危険な状況に遭遇するのは必至 である。そんな中漂っていても沈まなければ、 必ず良いことが巡ってくるものである(と、 私も信じて生きているのだが…)。

今、希望に満ちて学校を巣立っていく君達には、「全力投球」とか「全開」等といった方がふさわしいのかもしれないが、出口の見えないトンネルの中を彷徨っているような時代だから、敢えて、この言葉を贐としたい。adieu!

フルハウス

卒研中に息抜きで見ていた某動画サイト youtubeにて、「フルハウスビフォーアフター」 というものを見つけた。フルハウスとはNH K教育テレビで放映していた海外のホームドラマである。動画を見ると太っていた子役がセクシーな女優になっていたり、当時お馬鹿な役だった子が現在では大学院に通っていたりとある種の感動すら覚えた。

ふと気になって中学校の卒業アルバムを見てみた。この5年で自分にも何らかの変化なり成長があったのはないかと。だが、変わってねええええええええええええええええええええええええええええええええ

機械工学科 5年 國分 康志

人の顔は日々微妙に変化していて、毎日鏡で見ているから変化には気づかないものの、思春期の5年間では特に変化が顕著で、本人も気づかないうちに変わっていくものらしい。が、当時から老け顔だった私は変化らしい変化もなくここまで来てしまったようだ。

私は卒業後、本校専攻科に進学する。そこでは環境も変わり多少の変化もできる気がする。我等が佐東研究室の苦しい特別研究を乗り切れば何らかの成長があるのではないかと。でも所詮は同じ学校だし、内面ぐらいは成長できるといいなぁ。

やってみないとわからない

機械工学科 5年 チェン・スリョノ

日本に来て4年目になりました。日本のことがよくわからないので、日本にくることは私にとってかなりの挑戦でした。最初高専について何も知りませんでした。高専のことを初めて知ったのは先輩からでした。高専についていろいろと先輩に聞きました。やっと高専のことを理解し始めたとき、不安がこみ上げてきました。なぜなら、先輩によると、高専での勉強はすべて日本語で行われているからです。「東京で一生懸命日本語を学びなさい」は先輩から最初のアドバイスでした。

東京での勉強が終わろうとしていたとき、 またその不安を感じていました。これからの 3年間の高専生活、どうすれば乗り越えられ るのかずっと不安でした。2005年4月ようや く高専生活が始まりました。何日か経つとそ の不安がだんだんなくなってきました。なぜ かというと、いい友達、いい先輩、いい先生 に恵まれて早くも高専生活になじみました。 勉強面でも生活面でもいろいろわからないこ とがありましたが、先生や友達などが丁寧に やさしく接してくれました。高専での3年間 の生活は長いようで短い時間でした。その時 間が私の人生を大きく変えました。

最後に、先生方や友達などに心から深く感謝しています。そして、在校生の皆さんへ「やってみないと何もわからないのでぜひいろいろなことに挑戦してみてください」。

高専での思い出は一生忘れられません。これからも大学に進学して、いろいろなことに 挑戦して一生懸命やっていきたいと思います。





卒業によせて

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。そして、 卒業を迎える日を待ち望んでいた保護者の皆 様、ご卒業おめでとうございます。

早いもので、まだ制服姿の少年、少女だったころから3年の月日が過ぎてしまいました。 今ではすっかりスーツ姿が似合う立派な紳士、 淑女に成長しました、間もなく卒業を迎えます。

勉学にそして課外活動に一生懸命取り組んだ高専生活の5年という月日は長いようでありながら、思い返してみるとあっという間に感じられるのではないでしょうか。担任としては、この5年間が、君たちにとって、思い出のいっぱい詰まった充実した学生生活であったことを願っています。

さて、就職するもの進学するもの様々です

電気工学科 5年担任 伊藤 淳

が、新しい環境での生活が始まります。楽しいことばかりではなく、多くの戸惑いや困難があるかもしれません。そして、責任も出てきます。しかし、君たちならば、1日も早く新しい環境に慣れて、困難には根気強く取り組み、必ず解決できるものと信じています。健康には十分注意して、社会人として、大いに活躍することを期待しています。

最後に、ともに学生生活を送った友との絆を大切に、そして、この20年間まわりで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れずにいて下さい。

たくさんの楽しかった思い出をありがとう。 何年かしたら近況を知らせに来てくれるとう れしいです。その時には、思い出話を酒の肴 にして一杯飲めたらいいな。

学校生活を振り返って

福島高専での五年間はあっという間でした。 考えてみれば入学してからはずっと勉強して、 部活やって、学校行事に参加して、友達と遊 んでとすごく充実していました。私は卒業し てからは就職がきまっているので、もう今ま でのような学校生活は送れないのが残念です。

五年間で一番の思い出とすれば、やはりクラスの友達との思い出です。楽しいことやつらいことも入学したときから五年間一緒だったことが今思うと、良かったと思います。

自分の5年間を振り返ってみて、まず、一年から三年まではひたすら勉強と部活に打ち込んでいたと思います。部活をやっていたことでつらいときにも必死にがんばれる忍耐力がつきました。

電気工学科 5年 大和田 敦史

次にも四、五年生では、まず、工学セミナーに始まりインターンシップ、実験、就職活動、卒業研究発表と高専では重要なイベントが多く大変でした。しかし、インターンシップや就職活動で会社に行き自分の知らない世界を知り、とても良い経験ができました。

在校生に向けて言いたい事は、後悔しない 学校生活を送ってほしいです。勉強だけでな く部活や学生会をやることで、周りとの交流 を大事にしてほしいです。

私は、福島高専に入ってよかったです。普通の高校では味わえないようなことが沢山あり、多くの人との出会い、今までの経験は自分の大きな財産となりました。

卒業にあたって

5年間の長かった高専生活がもう終わりになります。1・2年生の時は、早く卒業したいと思っていましたが、今は名残惜しく感じています。5年間を思い返してみると、特に印象に残ったこともなく、思い出せるのは5年生になってからのことばかりで、私は何をしていたんだと今となっては思います。しかし、印象がないからといって高専生活がつまらなかったわけではなく、非常に充実していました。

私は、真面目とはいえない生徒でした。学校では勉強:遊びが2:8ぐらいだったように思います。担任の伊藤先生や、他の教職員の人々にはどう思われていたかはわかりませ

電気工学科 5年 土屋 圭亮

ん。休み時間のたびに友人たちと、トランプをピタンピタンやっていました。放課後も卒研を早めに切り上げて遊びに行っていました。毎日毎日遊んでいたので、とても充実していました。ここまで書いて、高専生活での一番の思い出は友人たちと遊んだことだと気づきました。私にとっては、様々なイベントよりも、何気ないような生活が楽しみだったようです。

最後に、1・2年生の時に担任を務めていただいた井川治先生と、3年から5年まで担任を務めていただいた伊藤淳先生には、とてもお世話になったので、これを謝辞としたいと思います。ありがとうございました。



卒業する皆さんへ

皆さん、卒業おめでとう。「入学したら卒業するのは当たり前」と誰かがさらりと言うかもしれない。でも、喜びとかうれしさや充実感を忘れさせてしまう不安や不満などマイナスな状況などを乗り越えて、次のステップへ向かう大切な区切りを迎えたことに心から喜びたいと思います。ご家族、保護者の方々と卒業生を送り出す担任として共に喜べることを本当にうれしく思います。ご指導頂いた先生方にも御礼申し上げます。

名前も顔も声も知らない状態から卒業までとこの3年を思うと、私は胸が一杯になります。両手で電卓を使うあなた方を見て、あぁ、世代が違うわと思いましたが、担任として、様々な場面に立ち会う中で、あなた方の真摯な姿、悩み、喜び、笑いも励まし合う心優しく素直な人たちであると思いました。公平さを求め、自分の意見を述べるあなたがたの姿…

物質工学科 5年担任 内田 修司

その成長というか姿は喜びでした。(想定外の)改修工事で、卒研や実験、授業もかなり 影響を受けましたが、あなた方はそれぞれ真 剣に取り組みました。

幸いなことに、企業、大学、専攻科…世の中は、あなた方を求めています。あなた方の可能性は、何かを始まらせる期待があります。「おかしいんじゃないですか?」と素直に声に出せる感覚は、それぞれが抱える問題の解決を促すことになるのではないかと期待します。

とは言うものの、環境が大きく変わりますから、まずは健康第一に順調なスタートであることを希望します。そして、明るく元気に、幸せな時間が続くこと。可能性に加えて自分自身を磨き、それぞれ輝きながら生きて欲しいと願っています。

共に取り組んだ卒業研究

物質工学科 5年 木幡 瑠美 チン・シーティン

私達は、ペアを組んで卒業研究に取り組みました。

木幡:5年間で、部活で肌を焼いたり、クラスメイトと同じ時間を共有できた事は私の財産です。その中で、留学生のシーティンさんとイリさんとの出会いは大きな出来事でした。卒研を共に取り組んだシーティンさんには日本語を教えたり、教えられたりしました。このように、私の5年間は周りの人達と共にありました。支えてくれた家族、先生方、友人、先輩、後輩には深く感謝しています。

シーティン:この3年間は、信じられないぐ

らい早く終わりました。日本に来て、言語の壁にぶつかり、何回もマレーシアに帰りたいと思いましたが、先生、先輩、チューターが色々サポートしてくれて、全ての問題を乗り越える事ができました。卒研においても、瑠美が様々な事を教えてくれました。楽しい時も辛い時も共に助け合い、問題を解決することができました。

私達は、卒業研究を通して、言語の壁を越え、言いたいことをはっきりと伝え合うことの大切さなどを学ぶことができました。これから、学んだ事をしっかりと将来に生かしていきたいと思います。

在校生へ

時が経つのは本当に早く私達もとうとう卒 業です。信じ難い。私は寮に入っているので すが、当然卒業したら寮も出なくてはいけま せん。これからは、皆で一緒にご飯食べたり、 部屋に集まって取り留めの無いことで夜遅く まで話したり、そういうことはもうできなく なるわけです。それは卒業すれば当たり前だ し、仕方の無い事なのですが、やはり淋しい ものですね。寮でもそうですが、私達はしば しば喧嘩をします。それは置いておいたお菓 子勝手に食べたとか、つまらない理由の場合 もあれば、自己の存在意義或いは信念等、譲 れないものを否定された事が原因で衝突が起 こる場合もあります。たいていはどちらかが 謝れば収まりますが、どちらも謝罪せず溝が 出来てしまうこともあります。本当に嫌いな

物質工学科 5年 鈴木 崇広

人ならいいですよ。喧嘩したままでもね。し かし、仲の良かった友人との間にわだかまり を持ち、それがとけないまま別れてしまうの は、少しばかり残念なことではないかと。私 達は卒業したら離れ離れになります。おそら く、親しい仲でも滅多に会うことはなく、喧 嘩していた間柄と会う機会は皆無に等しい。 だから言えるのはここだけです。「ありがと う」も「ばかやろう」も、言えるのは私達が 福島高専という場を共有している間だけです。 福島高専は桜が綺麗で、特に風に乗って花び らが舞う様はとても美しい。しかし我々五年 生は、もうそれを見れないかもしれません。 昨年もっとよく見ておけばよかったなと思い ます。皆さんは何かやり残した事はありませ かか?

境



思い出を経験に

建設環境工学科 5年担任 齊藤 充弘

みんな、卒業おめでとう!

いつの間にか「思い出のあの場所」となっ たここで写真を撮るのも最後ですね。思えば 3年前の始業式、「しゃべるな!」、「ガム噛 むな!!」と奔走し、こんなことが3年間も続 くのか…と途方に暮れたこのクラス担任も、 あっという間に終わりを迎えようとしていま す。あの日以来、「俺は他人ではない、担任 だ!」、「クラスは家族、周りのみんなのこと を考える!」、「うざくて結構!!」と好き勝手 にやらせてもらってきました。「うぜー」、「小 学生じゃないんだから」と非難轟々で、衝突 が絶えない関係であったのが、今では立派に 成長したみんなをただ見守るだけの自分となっ ています。

面倒くさいが口癖の、究極の甘えん坊集団 が、面倒くさいことに取り組み、リーダーシッ プを発揮するようになりました。頭髪も服装 もルールを守った普通の姿になりました。黒 板の清掃は、校内一だと自負しています。胴 上げされた時の浮揚感、浴びた喝采、全員と 進路決定の度に握手した右手の温もり、先生 のためにと集まってくれた最後の朝のホーム ルーム…これらは忘れ難き良き思い出です。 また、1年前、6名という大量の原級留置者 を出してしまった悔しさや憤り、まったく指 導できなかった制服のスカートの丈…など、 うまくいかなかった、良くない思い出もたく さんあり、これらは明日への課題・宿題です。

良いも悪いもたくさんの思い出を経験に変 えて、お互いにより成長できるよう、これか らも前を向いて進んでいきましょう!すべて は、楽しい毎日のために、そして究極の目標 である幸せの実現に向けて…

クラスは家族(ファミリー)

建設環境工学科 5年 佐藤 佳奈

「寮に入りたい」その一心で、何の志も持 たずに高専に入学した5年前の4月。気づけ ば5年という時間はあっという間に過ぎ去っ ていました。

このクラスで過ごした5年間は、本当にい ろんなことがありました。睡魔と闘いながら 授業を受け、居眠りなんてしようものなら叱 られ、暑い時も寒い時も測量をして、結局の ところ残骸であるレポートに追われた毎日で した。ヘルメットと作業服で、ありとあらゆ る所に見学に行きました。頑張ったのに、体 育大会は1回も優勝できませんでした。変な あだ名が定着した人も何人かいるし、5年間 のうちにだいぶキャラが変わった人もいます。 4年生の期末テストが16教科だったのは、衝 撃的でした。男の子は野球が好きでよくやっ ていました。女の子はそれをうまくよけて生

活してきました。いつの間にか、先生やクラ スメイトのモノマネも、だいぶ上手くなりま した。そして、入学時40名いたクラスメイト は増減を繰り返し、今や32名になりました。 遅刻に停学、教室の掃除…担任は、さぞ苦労 したことでしょう。本当に、お疲れ様でした。

入学当時は、夢も目的もなかった私が、4 月には就職します。赤点を取ってもへこまな い根性、テスト期間の徹夜の日々、みんなと 一緒に高専で過ごした5年間は、私を大きく 成長させてくれました。クラスメイトや先生、 家族などたくさんの人に支えられて、何とか 卒業を迎えようとしています。こんなに恵ま れた環境で5年間を過ごせたことを、本当に 嬉しく思うと同時に、これからもこの関係を 大切にしていきたいと思います。5年間、本 当にありがとうございました。

6年間の高専生活

題名からもわかるように私は留年をしてい ます。専攻科の一年ではありません。四年生 を二回やりました。高専では、四年で留年を すると高卒の資格もあるためか学校自体をや めて進路変更をしてしまう場合が多いと聞き ます。このことは、当然ながら私にとっても 当てはまり、辞めてしまう可能性は十分あり ました。何故なら、前のクラスにもあまり馴 染めずにいた私にとって新しいクラスはとて も不安であり、残りの二年間をやり通せる自 信がなかったからです。

しかし、実際には不安な気持ちが吹き飛ぶ くらいクラスは明るくとても雰囲気の良いク ラスでした。特に、いろいろな話ができる相 手ができて、とても嬉しかったです。齊藤先 生の研究室で委員長の高野君とよく昔の話 (主に中学時代の事)をした事や、いろいろ 話ができる三瓶・新妻(憲)コンビと仲良く

建設環境工学科 5年 坂本 和也

なれた事は、高専に入学してからできなかっ た思い出が二年間の短い期間中につくれてよ かったです。卒業を控えた現在では、「今の クラスでなければ学校を辞めていたかもしれ ない」と思っています。

そんな私も4月から大学生です。進学の際 に面接の練習やいろいろな相談相手をしてく ださった担任の齊藤先生ならびに、在学中の 六年間、建設環境工学科の先生方には大変お 世話になりました。

最後に三年間務めたサイクリング部長を後 輩に引き継ぐので、ここで部員のみんなにエー ルと感謝を送りたいと思います。部員のみん なには部長らしい事や手本となる事を十分に できなくてごめん!そして、ついてきてくれ てありがとう。上級生がいなくなり大変だけ ど頑張ってください。

コミュニケー



未来に輝け

コミュニケーション情報学科 5年担任 渡部 順一

ご卒業おめでとうございます。

前途に幸多かれと祈念しています。

みなさんが福島高専を卒業するにあたって、 一言お祝いの言葉を述べたいと思います。

これからみなさんは、人生の内で、最も輝 く時期に羽ばたこうとしています。

まだ、自分の将来が見えていない、お金もない、パートナーとなる人が現れていないかもしれない。ない、ないづくしのこの時期が、なぜ最も輝く時期なのでしょうか。みなさんには、「若さ」という人生の中で最も重要な資源の一つがあるからです。

これから、見るもの、聞くもの、行うもの、 すべてが、初めてであり、うまくやり遂げる ことが出来なかったり、他の人から叱られた りするかもしれません。その経験こそが、 「若さ」の象徴であり、長い人生の糧となり、 みなさんを輝かせるのです。

そうはいっても、不安になったり、迷ったりすることも多いのではないでしょうか。みなさんが、経験を積んでいく過程で、高専での5年間に及ぶ学業生活や学生生活が、物事を判断する上での基準となり、くじけそうになるときに支える指針となることを願わずにはいられません。

さあ、輝く未来に第一歩を踏み出そうでは ありませんか。

コミュニケーション情報学科において、10回目の卒業生を送り出す節目の年に当たり、 みなさんとの出会いに感謝いたしたいと思います。高専生活をご指導いただきましたご家族、並びに教職員の方々に感謝の意を捧げます。

ション情報学科

ど田舎娘の5年間

コミュニケーション情報学科 5年 郡部 幸菜

私の高専生活思い出ベスト3!

第3位 寮生活。ホームシックから始まった寮生活ですが、今ではもう快適さを覚えました。みんなで鍋パーティやヨガ部を開いたり、映画やサッカーを見たり、食べ物の話で盛り上がったり…このような生活がもう出来ないのは寂しすぎます。寂しくて4月から一人暮らし出来るか不安です。またみんなで鍋パーやろうね!大人の会やろうね!

第2位 部活動。バスケを続ける予定はなかったのですが、気づいたら新しいバッシュを買ってドリブルしていました。毎日のように辛い練習の日々。何度辞めようと思ったことか…でも、5年間諦めずに続けてきて本当に良かったと思います。楽しい先輩・後輩にも恵まれました!私が全国高専に後輩のみんなを連れて行ってあげられなかったことだけ

が悔しいです。だからみんなは頑張って全国 行ってね!

第1位 クラスメイト。大好きです♡みんな自由で話聞かないし、イマイチまとまらないし、結構テキトー!でも、席替え回数4回ぐらいで、みんな分け隔てなく仲良いし、一つの話題でみんなが盛り上がれるし…そんなクラスがすごく居心地が良くて、みんなと同じクラスになれて嬉しかったです♡時には自分達を「ゴミ科」と罵ったり、最後の高専祭ではたかが豆腐1丁でもめて、初めてクラスが険悪ムードになったりしたけど(笑)、何だかんだみんな進路決めて、卒研も励ましあいながら頑張ったよね!本当に大好き♡最高です!

つまり、5年間全てが私にとっては大切な 思い出です!!

○"ミ科の5年間

コミュニケーション情報学科 5年 瀬谷 尚子

入学式の日。初めて教室に入った私が最初に思ったことは「男子、少なっ!」でした。 入学当初の女子の人数は37名。男子の人数は 史上最少の4名。生まれて初めてのこの男女 比に私は「このメンバーで5年間高専生活を 共にするのか…」と不安を隠せませんでした。

いざ高専生活が始まってみると、タイトル 通り私たちのクラスは名前の最初に濁点をつ けたくなるようなクラスでした。クラスで何 かを決めようにもまったくまとまらない。3 年生のときには心理学の先生に本気で怒られ。 体育大会ではいつも学科のお荷物。「去年は こんなこと教えなくて済んだのに…」と吉村 先生に溜め息をつかれる始末。

でも、大きなイベントになると異様なまとまりを見せるし、先生に本気で怒られたとき

に言われた言葉さえクラス内の流行語にして しまい、バラバラなようで何だかんだ言って 仲のいいこのクラスがいつの間にか大好きに なっていました。

入学当初は途方もなく長いと思っていた5年間でしたが、いざ終わってしまうと本当にあっという間で、5年生の中盤を過ぎた頃から「最後の夏休み」「最後の体育大会」「最後の高専祭」「最後のテスト」と何かと「最後」という言葉がついて回るようになりました。そしてついに「最後の授業」が終わり、とうとう私たちの高専生活が終わろうとしています。

この5年間で胸を張れるようなことは特に 何もしてきませんでしたが、高専でこのクラ スメート達に出会えたことが私の最大の自慢 でした。 祝修了 機械・電気 システム エ学専 でである。



祝修了 物質・環境 システム エ学専



修了生に贈ることば 一 新 □ (パイ)型人間での活躍を期待します ―

機械・電気システム工学専攻 専攻長 大槻 正伸

皆さん専攻科修了本当におめでとうございます。専攻科の2年間はいかがだったでしょうか?この忙しい2年間の意味は一体何だったのでしょうか。もちろん学位取得のための時間という大きな意味を持ちますが、もう少し深くその意義を考えてみましょう。

もう20年も前ですが、私は会社で「『T型』でなく『 Π (パイ)型』人間になれ。」と言われました。ここで横軸は知識の広さ、縦軸は深さだそうです。『T型』人間とは浅い知識を広く持ち(-)、1つの深い専門知識(I)を持つ人、同様に『 Π 型』とはT型よりもさらにもう1つ深い専門知識を持つ人というわけです。それはまあ、 Π 型人間は理想ですがそう簡単にはいきません。実際 Π 型人間教育は、なかなか実践されているとは言いがたいのではないでしょ

うか。ところがⅡ型人間を本気で育てようとし ているユニークな学校がありました。それこそ が我が福島高専の専攻科だと思います。内弟子 のように専門の先生に何年もつける環境で「特 別研究」「特別セミナー」等で2つの深い知識 を得るというユニークな教育を皆さんは受けた わけです。今後皆さんはそれぞれの環境で現在 とは異なった分野の仕事をすることと思います。 そうすると、現在は「「□型人間」に向かってい たのが、さらにもう一つ専門が加わり「新パイ 型(皿)人間」になって各分野で活躍していく のだと思います。とするとこの2年間は「Ⅲ型 人間」になるための修行の日々だったのではな いでしょうか。私は現在、皆さんが専攻科で学 んだことを活かして各分野で伸び伸びと活躍し ていってくれることを期待しているところです。

修了にあたって

機械・電気システム工学専攻 2年 中村 哲也

あなたがこれを読んでいるときには、僕はも ういないでしょう。多分、秋田に引っ越してま すから。

終わってみれば、あっという間でした。まあ皆そう思ってるんだろうけど。福島高専に計7年もいたわけだから、よく飽きなかったなあと思います。その中でもラストを飾る専攻科では、特に充実した生活を送ることができたんじゃないかな?

球技大会では空気をあえて読まずにチーム専 攻科が荒らし回りました。いまいちパッとして いない感じがした専攻科の存在が、良くも悪く も高専全体に深く刻み込まれたのではないかと 思います。高専祭ではビッグフランク「マグナム」や、わたあめ「ロマンス」を販売。売り上 げは打ち上げで全て露と消えました。専攻科で の飲み会には笠I先生やS袋先生をはじめとした先生方にも参加していただき、本科時代よりも深い交流もできました。ありがとうございます。また、二瓶修ナントカ君の爆笑研究発表会。毎回楽しく拝見させていただきました。

個人的なことを言わせていただくと、陸上の 福島県選手権でリレーと走り幅跳びで優勝する こともできました。二年次にはケガもありそれ ほどの結果を残せませんでしたが、全体的に見 れば公私ともに順調な専攻科生活だったと思い ます。

ああ、もちろん真面目な事もやりましたよ。 本科時代よりも高度な研究、学会発表、1ヶ月 のインターンシップ、学位授与試験など。…真 面目な部分少ないように見えますね。ま、いいか。 皆様ありがとうございました。それではまた。

修了生に贈る言葉

物質・環境システム工学専攻 専攻長 青柳 克弘

物質・環境システム工学専攻3期生の皆さん、 専攻科修了おめでとうございます。皆さんは、 最初から新しい専攻科棟で授業を受けることが できた初めての学年です。住み心地はいかがだっ たでしょうか。

ビジネス系の知識を持った実践的技術プロフェッショナルの育成を目指している本専攻としては、地元を初めとする多くの企業に就職して、能力を十分に発揮してくれることを期待しておりますが、それと同じくらい、専攻科で培った研究に打ち込む力と姿勢を、大学院に進学してさらに磨いてほしいとも思っております。今年度は、修了生8人の内5人が大学院進学、3人が地元企業を中心とした就職という進路状況でした。それぞれの道での活躍と社会貢献を期待しております。また、特別研究公開発表会を今年度は

いわき産業創造館(LATOV6階)で行いました。日頃の研究の成果を地元企業や保護者の方々に見ていただきました。3年間研究を継続できるということが高専専攻科の大きな特徴の1つです。この特別研究を初めとする福島高専の専攻科教育を受けた皆さんは、かなりの実力を持っているはずです。自信を持って頑張ってください。

それから、昨年の5月に、本校の技術者教育プログラムが、正式にJABEE(日本技術者教育認定機構)対応プログラムとして認定されました。7月には第1回JABEEプログラム修了証書授与式が行われました。皆さんは、第2回修了生となります。国際的に通用する人間性豊かな実践的技術者として活躍することを心から祈っております。

高専生活で得たさまざまなこと

物質・環境システム工学専攻 2年 根本 奈都子

いよいよ卒業である。この原稿の執筆にあたり、私は高専時代に何をしてきたのか、何を"どこまでわかって卒業"するのかを改めて考えた。

『もっと貪欲に勉強すればよかった』と痛烈に感じたことは何度もある。しかし、化学はもちろん、機械・電気・建設・ビジネスという分野は各々興味深く、学べば学ぶほど世界が広がり、飽きることはなかった。"あっという間"の一言だ。

また、情報があふれる世の中で、"本"というものの大切さも改めて実感した。学術書だけでなく、詩集・歴史書・推理小説に至るまで図書館の本を読み漁った。読んでいくとふとしたときに、『意外な事実』とつながるということに気づいた。新たな発見に出会うため、これからも、まだ踏み入れていない領域にどんどん挑戦していこうと思う。

専攻科教育の柱の一つとして掲げている"シナジー"にも、全力で取り組んだ。ビジネスプランコンテストに参加して、起業するためのプランを具体的に立て、経営を行なうノウハウについて実践的に学んだ。また、研究会の代表として、小中学生を対象とした講座の企画・運営を行った。さらに、特別セミナーでは学んだことの集大成として、リニアドライブ研究会に参加した。専門以外の分野で校外に出て発表するという貴重な経験は、私の人生で大きな宝物となったと思う。

高専生活で得た、かけがえのない経験を心の 糧とし、これからの新しい生活を送りたい。

7年間の高専生活を終えて思うことは、【自分の目指す目標に全力で取り組めることは幸せであり、それができる福島高専を"誇り"に思う】ということである。

祝 修了

ビ ジ ネ ス コミュニケーション学 専 攻



心で見つめよ

ビジネスコミュニケーション学専攻 専攻長 森川 治

専攻科修了及び学士取得おめでとう。2年前よりもより頼もしい青年に成長した君達の姿が 輝いている今日この頃。

君達も知っているように、イージス艦事故、中国製餃子中毒事件、食品偽装問題、年金問題、 凶悪殺人事件等どれ一つをとっても日本を揺がす大問題である。この様な状況で新しい第一歩を踏み出す若い君達への期待の大きさは並々ならぬものがあります。高専時代のような生半可な姿勢を早く脱却し、新しい環境のもと自分の持っている物を存分発揮していただきたい。君達の取り組み次第では十分社会からの期待に応えられるものと確信しています。

先日、サンテグジュペリの「星の王子様さま」 の狐のせりふを見つけ、愕然としました。その せりふは、「心で見ないとものごとはよく見え ないことってことさ。肝心なことは、目には見えないんだよ。」我々は目の前や自分のことばかりに気をとられ、社会から与えられている場が分からず、不平不満の塊まりとなり、愚かな振る舞いをしている様です。今与えられている場を暗黒のように考えている時でも、一寸先に光明が待ちかまえているかもしれない。自分を磨き、光明が待ちかまえているかもしれない。自分を磨き、間りの信頼を得、未来を切り開いて行くのではないだろうか。自分の足下を見つめ、与えられた場で地道な努力を重ねる。この様な生き方ができないだろうか。偉そうなことを言いましたが、それも、君達に期待する一心からです。

最後に、君達の健康と活躍を祈っています。

7年の月日を歩いてきて…

ビジネスコミュニケーション学専攻 2年 岡崎 奈津美

7年という月日を振り返ると、ここまでくるのには長い道のりだった気がします。泣いた事も笑った事も、青い自分も少し大人になった自分も…同じ環境にずっと居たからこそ、自分を含めて「人」というものが成長していく過程や時代の移り変わりをしっかり感じる事が出来たと思います。

7年の間に起きた、数え切れない出来事の中で、私が一番学んだ事と言えば、「思いやり」と「伝えようとする気持ちの大切さ」だと思います。自分だけでなく、相手の気持ちを考える事は大切な事です。しかしそれは簡単ではないし、それ故に人間社会で生きていく事はこんなにも難しいのだと思います。多様な人間が集まっている高専の中で、人間関係の渦にもまれながらも、こうして少し大人になれた事は喜ぶべき事であり、これからもこんな風に歩いていくの

だと思います。また、想いは抱いているだけでは伝わりません。伝えなければ広がらない世界がたくさんあると思います。人は一人では生きれないのでコミュニケーションが不可欠で、そのコミュニケーションには思いやりや伝えようとする気持ちが不可欠だと思います。

ただし、7年間という歳月をただ一人で過ごしただけでは気付けなかった事がたくさんあると思います。一人では頑張れなかったし、一人では歩いてこれなかったと思います。だからこそ、ここまでこれたのは、たくさんの温かい手があったからだと身に染みて感じています。7年の月日を過ごした高専に、支えてくださった先生方に、共に歩いてきた友に、かけがえのない家族に、この場を借り、心から感謝を述べたいと思います。



2007年度 学生会活動を振り返って

学生会長 コミュニケーション情報学科 5年 矢吹 友日里

「1年間はあっという間」と言うのは、ありふれた言葉でしょうか。しかし会長職に就いたこの1年は、5年間のうちのどの1年よりも駆け足で過ぎて行ったように思います。

自分の進路と並行して学生会活動を行おうとすると、どうしても準備に手が回らず、塞ぎこんでしまいそうになった時もありました。しかしそんな時には必ず役員の誰かが支えてくれ、学校が集団で機能することの意味を、身を以って知ることになりました。本当に感謝しています。

目に見える活動内容としては、学生総会や、募金活動、高専祭などがありますが、その中でも私が特に印象に残っているものには、壮行会と東北地区リーダー交流会が挙げられます。壮行会は、約15年振りの応援団復団に伴って企画したイベントです。個人的には学生会が主催する行事の一つとして、今後も続いて行けば嬉しく思います。2つ目に挙げたものは、福島が主幹校となった交流会です。ここ

では東北地区高専間で活発な意見交換がなされ、相互発展の一端になったのではないかと 思います。

私にとって学生会とは、「人との繋がり」 を実感させてくれる、素敵な出会いがたくさ ん詰まった場所でした。勿論、忙しく責任が 付いてまわる仕事ですが、そのおかげで充実 した濃い毎日を過ごすことが出来ました。

高専は、自分のペースで自己を省みたり、 専門分野を極めたりすることが出来る環境に あります。しかし「5年間もあっという間」 です。在校生の皆さんには、早いうちから将 来に必要なものを見極めること、そして興味 あるものには一歩踏み出して挑戦する気持ち を持って欲しいと思います。

最後になりますが、学生会に携わって下さった諸先生方、またお世話になった学生課の方々ならびに学生会役員、そして全学生の皆さん、本当に有り難うございました。母校となる福島高専の更なる飛躍を期待しています。



ュニケーション情報学科4年鷺明日美さんター製作者は

コミュニケーション情報学科4年 吉田 貴之

昨年の高専祭はかつてないほどの大成功に終わりました。しかし、この大成功の裏にはたくさんの苦労と涙がありました。今回は準備期間がとても短かったですが、全ての委員会の学生が一生懸命に活動したことで本祭では大きな問題もなくスムーズに進行することができました。

今回の高専祭では、今までにない取り組みをしました。1つ目が「スポンサーによる協賛金」です。 こちらは、いわき市内の企業へ学生が直接出向いて、高専祭のスポンサーを募りました。

その結果、想像以上の企業の方々がスポンサーになって下さいました。スポンサーになってくださった 企業の方々へは大変感謝いたしております。

2つ目は「ドリンク制度」です。この制度は、実行委員会として環境に配慮した「エコ」な取り組みができないか、と考えた結果がこの「ドリンク制度」でした。この制度は、来場したお客様に専用のコップを購入してもらい、1杯目は百円(コップ代含む)、2杯目からは50円で飲んでもらう制度です。どこが「エコ」なんだ?と思った方、ここからです、このコップには底に抽選番号が書いてあり、本祭終了時に超豪華景品があたるというものです。その結果、コップの回収率は8割を越え、「エコ」な取り組みになりました。

高専祭にお越し下さった方々、協力してくださった地域の方々、ありがとうございました。



いと思います。

た。関係された皆様に心から御礼申し上げます。















この困難な状況でも、機械工学科・物質工学科の皆さんの協力、そして実行委員会・催し物委員会・

前夜祭委員会の判断で、低学年棟やコミュニケーション情報学科棟の前のスペース、専攻科棟前駐車場、

第二体育館などの使用により、スペースの問題はなんとか切り抜けることができました。また、今回の

高専祭は準備期間が極めて短くなってしまったのですが、高専祭関係の各委員や催し物団体の学生の熱

意と努力、各先生方の的確なご指導、職員の方々のご尽力により、高専祭を成功させることができまし

当初目標とされていた高専祭の連続開催も、まず3年は継続させることができました。来年度以降も、

高専祭を通した色々な経験を繋いでゆくために、形態は変わるかもしれませんが続けていってもらいた

学年行事

福島高専では11月21日と22日の両日にわたり学年行事を実施しました。

学年行事は企業や公共施設の見学を通じて将来 の進路を考えるとともに、楽しみながら学ぶこと、 また、スポーツ交流会等を通じて学科を越えた人 間交流を図ることを目的として実施しています。

今回はその中から見学旅行に参加した学生の皆 さんから感想を述べてもらいました。

機械工学科





11月21日に機械工学科2年生は見学旅行で勿来火力発電所と日産工場を訪れた。発電所では、巨大なタービンや工場中にある巨大なパイプなど大きな設備に驚かされた。日産工場ではエンジンのフレームや組み立ての作業を見学して、鋳造など実習や授業で学んだことが工場の中で使われていた。

私は時々「実際現場で、学校で学んだ知識は役に立つのだろうか?」と思うことがある。しかし、今回の見学で「今、学んでいる知識は将来絶対に役に立つ。」と思った。

機械工学科 2年 馬場 将亮

電気工学科





学年行事では筑波宇宙センターと高エネルギー加速器研究機構 (KEK) を見学しました。

筑波宇宙センターは、JAXAに属しており宇宙開発の大きな役割を担っています。宇宙飛行士の養成所など大規模な設備がたくさんあり驚きました。KEKでは物質を構成する素粒子や原子核の研究が行われている施設であり、身近にある不思議について学ぶことが出来ました。

今回の見学で感じたことは科学技術の研究は人類の発展に不可欠なものであるということです。

電気工学科 1年 須田 拓馬

物質工学科





私たち物質工学科3年生は、花王株式会社すみだ事業場を見学しました。

案内された化粧品製造工場ではほとんどが機械作業でした。しかし完成したリップは人の手で1本1本しっかり検査されており、製品の徹底さがうかがえました。工場見学を終えた後は花王ミュージアムで清浄文化史や社史にふれ、また体験スペースでは自分の肌や髪の状態をチェックできました。

私は将来、化粧品の製造に携わりたいと考えており、この工場見学で学んだことをしっかりと生かしていきたいです。 物質工学科 3年 岡田 真美

建設環境 工学科





今回、建設環境工学科三年生は降雪の激しい会津地方に行ってまいりました。

いわき市のような温暖で平和な地域と比べますと、会津一帯は圧倒的な雪に占拠されているような眺めでした。一日目の夜、菊地先生、高荒先生の過去から現在に至るまでのお話は胸を打つものがあり、信念を持つ大切さを教えていただきました。会津縦貫北道路日橋川橋の現場見学では、現場の方々に終始丁寧に説明していただきました。発展の影で活躍する人々の努力を寒空の下、ヒシヒシと感じました。

建設環境工学科 3年 渡邊 祥馬

コミュニケーション 情報学科





1年コミ科の学年行事は季節外れの大雪の降る中、羽鳥高原にあるブリティッシュヒルズ(以下BH)での研修でした。そこは英国様式の建物と英語圏出身のスタッフや教員から成る英語研修施設です。私たちは3グループに分かれ、先生とゲーム形式での英語の勉強をしました。通常よりも少ない人数での英会話の勉強はとても新鮮でした。昼食の後、各グループでクッキング、カリグラフィー、Tシャツ作りを行ないましたが、施設内はほぼすべて英会話になり、貴重な体験でした。

コミュニケーション情報学科 1年 古市 知己



学生表彰 (特別表彰)

平成19年度パテントコンテスト高専部門特許出願支援対象者

「鉄道の地下化施工法」 佐藤 佳奈 (5 K) 「パカっと物干っしゃん」

> 赤津沙希子(4 I)·飯島美奈帆(4 I) 石川友里恵(4 I)・牛越 文登(4 I)

平成19年度電気学会産業応用部門大会

ヤングエンジニアポスターコンペティション優秀発表賞

「Halback配列永久磁石軌道上の磁場分布に依存した配列バルク 超電導体試料の電磁力特性の考察」 佐々木修平(2ME)

TOEIC検定試験900点

モハマド・シャワル・ビン・ザブリ (3 M) ノール・シャザリナ・ビンティ・マット・ジャリ (3 K)

平成19年度国立高等専門学校学習到達度試験(物理) 化学系学科全国 1 位

長久保勝大 (3 C)

伊藤 竜平 (5 M)

電子情報通信学会東北支部優秀学生賞

矢久保悟史(5E)

電気学会東北支部優秀学生賞

佐々川雄貴(5E)

日本化学学会東北支部長賞

チン・シー・ティン (5 C)

成19年度パテントコンテスト表彰式

土木工学会(近藤賞)

御代田早紀 (5K)



ラブ活動等の結果

体育部

■第34回東北総合体育大会 陸上競技大会

4×100mR 中村 哲也 (専2) 福島県選抜チーム 8位

福島県選抜チーム 4位

■平成19年度福島県高等学校新人体育大会 県大会 陸上競技

【男子】三段跳 佐藤 義剛 (2 M) 5 位 やり投 高萩 滋光 (2 M) 8位

バレーボール

【男子】 【女子】 1回戦敗退

ソフトテニス

【男子】 ダブルス 吉田章大(2E)・関本宏佑(1E)

【男子】団 体 ……………1回戦敗退 【男子】個人組手 シングルス 小堺 健生(2E) 2回戦敗退

武田 章宏(1K) 2回戦敗退



【男子】団 体……ベスト8 ダブルス 谷水信吾(2K)・吉田圭祐(2C) ベスト8

江尻義史(1K)·佐藤京平(1K)

【女子】団 体………準優勝(東北大会出場) 1回戦敗退 シングルス 小野 緑 (1 K) ベスト8

東北強化リーグ大会出場 安島 真理(1 I) ベスト16

ダブルス 安島恵理(1 I)・猪狩美咲(1 C)

空手道

渡辺 和英(2K) 角田 幸司 (1 C)

ベスト8 ベスト8



個人型 渡辺 和英(2K) 角田 幸司(1C) 1回戦敗退

バドミントン

シングルス 伊藤 勲信(2C) 2回戦敗退 佐藤 一貴(1E) 2回戦敗退 ダブルス 伊藤勲信(2C)・佐藤一貴(1E)

■第36回東北学生陸上競技選手権大会

【男子】400mH 矢内 将喜(5K) 優勝

■第52回福島県高等学校駅伝競技大会

伊藤 良(3 M)·猪 孝一(3 M)·坂本 貴史(3 E) 鵜名山 俊(2C)·松山 雄紀(2K) 勝沼 将人(2C)·藁谷 誠人(1E)

■平成19年度全日本卓球選手権大会福島県予選会 【男子】ダブルス丹野淳(3K)・水野潤樹(3K) ベスト16

【女子】 ダブルス 西山綾香(4K)・玄祥子(4 I) ベスト8

【混合ダブルス】 西山 綾香 (4 K)

ベスト8

■全日本社会人卓球選手権大会

【女子】 シングルス 西山 綾香(4K) 2回戦敗退 " 玄 祥子(4 I) 1 回戦敗退 ダブルス 西山 綾香(4K)・玄祥子(4 I)

■第31回東北高等学校選抜卓球大会

女子団体……予選敗退

文化部・研究会・愛好会

■吹奏楽部

第35回福島県アンサンブルコンテスト 銀賞 (大学の部)

猪狩 功貴(3K)·井上 春香(3I) 山中 美歩 (2 C)・坂本 卓磨 (2 I) 森下 涼子 (2 I)・都留あす香 (2 I)

齋藤友紀子(1 I)

■将棋部

第16回全国高等学校文化連盟将棋新人大会 福島県大会

博多 大樹 (1 E) ベスト16



長谷川 涼(1E)·大竹 剛史(1K) 1回戦敗退 渡辺 亮 (1 E)· 永井 駿 (1 I) 2回戦敗退

■サイクリング部

夏季長期ツーリング実施

(いわき市~棚倉町~茨城県大子町~北茨城市) 第40回福島県サイクルスポーツ大会

いわき大会

坂本 和也(5K)·小野 陽洋(2M) 小松 健太(2M)・橋本 竜一(1M)

吉田 和樹(1 M)

■山岳部

安達太良山登山 実施



会田 寛正 (4M)·吉田 修平 (4M)

■プログラミング愛好会

全国高等専門学校第18回プログラミングコンテスト 【課題部門】

鈴木 公美(4I)·鈴木友理枝(4I) 永山 友美 (4 I)·小野 紗貴 (3 C) 藤原 拓巳(3E) 敢闘賞

【競技部門】

ベルトゥ・セリ・パウルス (4M) レ・クアン・ダオ (3 E)・遠藤 周平 (3 I) 敗者復活戦敗退

■茶華道部

いわき学校茶道連盟会第24回合同発表会参加

■写真部

夏井川渓谷(紅葉)撮影実施

■ロボット技術研究会

アイデア対決・全国高専口ボットコンテスト 2007 全国大会

マシン名「機馬」

2 回戦敗退 大川原隆義 (5 M)・蛭田 章由 (4 E)

菅家 麻美 (1 M)

その他の活躍

■「金融と経済の明日」第5回高校生小論文コンクール 「社会に出るとは責任を負うこと」 佳作 石岡花奈子(4K)

■夕張国際学生映画祭2008

学生ショートフィルムAWARD 準グランプリ タイトル「原石」

我妻さつき (3 I)・ 草野奈都美 (3 I) 我妻さおり(高萩高校2年)

ラブ紹介

写真部の主な活動は、写真展に向けた作品作り です。自分の納得する作品ができた時の達成感は 何とも言えません。

私たち写真部は、部全体のまとまりや、撮影技 術向上のため、定期的に「撮影会」を行っていま す。春には桜の写真、秋には夏井川渓谷で紅葉の 写真を撮りました。多くの撮影会の中でも、最も 印象的だったのは、いわき地区高等学校写真連盟 撮影会への参加でした。学校は違いますが、同じ 写真部同士の交流を深めたり、良い作品づくりが できたりと、貴重な体験をすることができました。 また、「撮影会」の成果もあり、高校写真展では 「入選」3点、東北地区文化部発表会では「特選」 1点、「入選」2点と、多くの賞を頂くことがで きました。

風景だけでなく、「人」を撮ることもあります。

バスケットボール部

が男女・年齢を問わずとても仲の良い部です。

高専大会はもちろんのこと、3年生以下は高体 連・いわきフェスティバル・選手権大会など、一 般の高校生と同じ大会にも出場しています。その 他にも、男子はIBリーグ(いわきバスケットボー ルリーグ)・女子はJBCといった社会人チーム の大会にも積極的に参加しています。

現在は体育館の改修工事が行われており、高専 の体育館での部活動ができない状況にあります。 そんな中、部員たちは外周やロードワークに励み、 基礎体力の向上を図っています。ボールを触れな い、ドリブルができない、シュートができない、 今のこの辛さから、私たちにはきっとボールに対 する執着心が生まれるでしょう。この逆境を乗り 越えさらに強くなりたいと思います。週に何度か は平三中でお世話になり、中学生と一緒に部活動



全く知らない人に声をかけて写真を撮らさせてい ただくのはとても勇気がいります。断られた時の ことを考えてしまい、最初はなかなか話しかける ことができませんでした。でも、実際声をかけて みると、皆さん良い方ばかりで快く了解してくだ さり、温かい写真を撮ることができました。

この一年を振り返ると、一枚の写真でどれだけ その場の雰囲気、人の気持ちが伝えられるのか考 えるようになりました。また、目に見える「今」、 この瞬間、一瞬さえも大切に感じられるようにな りました。これからも写真部員皆で頑張ります。

機械工学科3年 佐藤 大志

私たちは日々練習に励んでいます。チーム全体 をしています。お互いに学び技術・体力の向上に つなげられればと考えています。

> 4月には工事が終わり、体育館が使用できるよ うになります。時間はあまりありません。高体連・ 高専大会に向けて全力で駆け抜けていきたいと思 います。

最後に、新入生の皆さんへ。私は部活動をして いないことは本当にもったいないことだと思いま す。勉強ばかりじゃつまりません。気持ちの良い 汗、チームメイトとの深い絆、勝利の喜び、部活 動はあなたをひとまわりも、ふたまわりも大きな 人間に育ててくれると思います。是非バスケット ボール部で、私たちと一緒に素敵な汗を流してみ ませんか?優しい先輩が新入生のみなさんを待っ ています!

コミュニケーション情報学科4年 岡部 立









平成20年度 公開講座/学校開放事業

~福島高専で学んでみませんか~

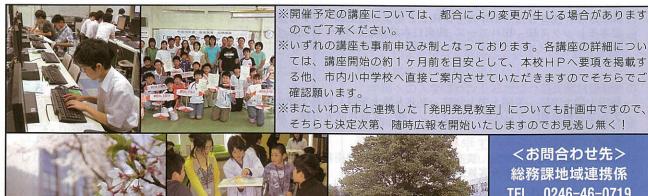
ご存じでしたか?福島高専には年間で約400人もの方が公開講座等の受講生としてい らっしゃいます。(平成19年度延べ人数実績)

平成20年度も様々な分野での講座をご用意いたしました。

モノづくり、英語セミナー、プログラミング.. 興味のある講座を見つけたら... ぜひ 福島喜恵へおいでください!!

せい、倫島尚専へおいでくたさい!!		
◆ 小→小学生 中→中学生	大→大学生 保→保護者	社→社会人
【7月の講座】		
・中学生のためのプログラミング入門	対象:中	定員:35名
・自由研究作品を作ろう	対象:小・中	定員:20名
・夏井川について調べてみよう	対象:小・中	定員:20名
【8月の講座】		
・中学生のための英語セミナー	対象:中	定員:20名
・LEGOロボットと遊びながら学ぼう	対象:中	定員:10名
・創作飛行機を作ろう	対象:小・中	定員:20名
・ルービック・キューブで遊ぼう	対象:中・保	定員:15組(30名
・第3回デザインコンテスト	対象:小・中	定員:20名
・第3回中学生プログラミングコンテスト	対象:中	定員:12組(36名
【9月の講座】		
・GIS(地理情報システム)ソフトウェア入門	対象:大・社	定員:20名
【10月の講座】		
・ディジタル技術検定4級トレーニング	対象:中	定員:20名
【その他、計画中の講座】		
・熱エネルギーを利用したおもちゃ作り・中学校教員のための理科実験教室	対象: <mark>小・中・保</mark> 対象:中学校教員等	定員:20名 定員:10名

<公開講座の風景>



<お問合わせ先> 総務課地域連携係 TEL 0246-46-0719 FAX 0246-46-0713

平成19年度 卒業生・修了生の進路状況

進路対策委員長 髙野 克宏

今年度は857社から求人があり、求人数は2500人を超えて、実質的な平均倍率が27倍以上に達しました。「団塊の世代」の大量退職による2007年問題に加え、モノづくりの現場で、若く優秀な 人材を求める傾向が強くなったことが影響したと考えられます。

進学も好結果を残しております。本校専攻科や長岡・豊橋技術科学大学はもとより、東京大学をはじめとする国立大学に80名もの合格者を出すことができました。本校卒業生の進路として大学編入学が定着し、学生たちが計画的に受験勉強に取り組むようになったことに加え、学校として補習授業等を継続的に行ってバックアップしてきた成果が出たものと考えております。

ただし、問題点もあります。就職・進学を巡る状況 が好調すぎるために油断してしまい、進路を決められ ないまま、無駄に時を過ごしてしまう学生が見受けられたということです。

近年は、企業の求人も大学の編入学も動きが早まる傾向にありますので、5年生の4月には実質的に活動のピーク時期に入ります。つまり、5年生になってから自分の進路を考えていては遅いということです。それにもかかわらず、5年生に進級した後も、就職するか進学するかさえも決めかねて、漫然と学生生活を送る者がしばしば見受けられます。

就職・進字状況が好調だとはいえ、十分な準備をしないで臨んでは、第一希望の会社または大学に進むことは困難です。学生と保護者の間で十分に意思の疎通は図り、4年生の秋までにはしっかりした対策を始めるよう心掛けてください。

機械工学科

福島高専専攻科 茨城大学 岩手大学 神戸大学 千葉大学 電気通信大学 豊橋技術科学大学 長岡技術科学大学 山形大学

(株) AL航空機整備成田 JFEスチール(株) 曙ブレーキ工業(株) 堺化学工業(株)

セイコーエプソン(株) 大宏電機(株) ダイワ精工(株) (株)テクモ 東海旅客鉄道(株) 日本精工(株) 東日本高速道路(株) 東日本旅客鉄道(株) 日立化成工業(株) 本田技研工業(株) ムネカタ(株) ムラテック C. C. S (株) (独) 国立印刷局

雷気工学科

福島高専専攻科 秋田大学 茨城大学 筑波大学 東京大学 東京農工大学 豊橋技術科学大学 長岡技術科学大学 北海道大学

NECネッツエスアイ・エンジニアリング㈱ ㈱NTTコミュニケーションズ ㈱NTTファシリティーズ

曙ブレーキ工業㈱ アルプス電気㈱ ㈱キャノン クリナップ㈱ ㈱クレハコスモ石油㈱ ㈱スタンレーいわき製作所 ソニーイーエムシーエス㈱

ソニーエナジー・デバイス㈱ 東京電力㈱ 東北電力㈱ ㈱日立製作所 ㈱日立プラントテクノロジー

富士通㈱ ㈱古河電池 (独)国立印刷局

本

物質工学科

福島高専専攻科 茨城大学 宇都宮大学 東京農工大学 長岡技術科学大学 新潟大学 福島大学 曙ブレーキ工業㈱ 味の素㈱ ㈱アンデスインテック 宇部興産㈱ 花王㈱ カゴメ㈱ 関西ペイント㈱ ㈱クレハ 堺化学工業㈱ 生化学工業㈱ ソニーケミカル&インフォメーションデバイス㈱ チッソ石油化学㈱ 東新工業㈱ 東電環境エンジニアリング㈱ 東燃ゼネラル石油㈱ 日本ファインコーティングス㈱ バニーコルアート㈱ 日立化成工業㈱ 富士化成工業㈱ ㈱フルヤ金属 有機合成薬品工業㈱

. .

建設環境工学科

福島高専専攻科 秋田大学 茨城大学 群馬大学 豊橋技術科学大学 長岡技術科学大学 新潟大学 福島大学 中川学園調理技術専門学校

(㈱アクティオ (㈱エステック (㈱エヌ・ティ・ティ・エムイー クリナップ(㈱) コスモ工機(㈱) 常盤工業(㈱) 東京電力(㈱) 東北電力(㈱) 東日本旅客鉄道(㈱) (㈱福建コンサルタント

コミュニケーション情報学科

福島高専専攻科 高知女子大学 信州大学 東北大学 福島大学 北海道大学 磐城共立高等看護学院東京YMCA国際ホテル専門学校

㈱CSI ㈱FSK アルパイン㈱ アルプス電気㈱ グレイスホテル㈱ ㈱東急リゾートサービス

日本モレックス(株) (株)ハニーズ (株)東日本計算センター 日立エイチ・ビー・エム(株)

(株)ブリティッシュ・ヒルズ マークス(株) 三浦工業(株) (株)ローズホテルズ・インターナショナル 横浜税関 文京区

車

攻

科

機械・電気システム工学専攻

秋田大学大学院 茨城大学大学院 東北大学大学院 福島大学大学院 アルプス電気㈱ クレハエンジニアリング㈱ 常磐共同火力㈱ 東京電力㈱

物質・環境システム工学専攻

京都工芸繊維大学大学院 筑波大学大学院 長岡技術科学大学大学院 福島大学大学院 北海道大学大学院 クレハ環境㈱ 東日本旅客鉄道㈱

ビジネスコミュニケーション学専攻

長岡技術科学大学大学院 いわき信用金庫 クレハエンジニアリング㈱ ㈱クロスカンパニー

先輩達から後輩の皆さんへ進路についてアドバイスをいただきました。

機械工学科5年 伊藤 竜平高専に入学した皆さんなら当然、将来どんな職に就き、どんな仕事をしたいか、明確な意志を持っていることでしょう。しかし、中には何をしたらいいのか分からず、自分の将来に不安を抱えている人僕もその一人でした。そんな僕でも、やりたいことが見つかり、この春から大学に進学し新たな生活をスタートさせます。何をしたらいいのか分からない人は、とりあえず目の前の勉強や部活、その他のことに一生懸命取り組んでみてはどうでしょうか。そしたら、自分のやりたいことが見えてくるかもしれません。大切なのは一歩踏み出す勇気です。とにかく頑張ってください。なるようになります!

電気工学科5年 下地 薫 私の高専での5年間はとても充実し、とても短い学生生活でした。楽しいことがたくさんあり、友達にも恵まれて、良い学生生活でした。しかし、楽しいことだけでなく、学生として大変な面も少なくはありませんでした。特に、3、4年生の時期はとても忙しかったと思います。また、5年生も進路や卒業研究などで3、4年生とは別の忙しさがありました。

在校生に伝えたいことは、思い出作りや友達と遊ぶときはある程度余裕を持って、学生としてやらなければならない時は一生懸命やる。ということです。また、友達の数が多い方が学校も有意義に過ごせるだろうし、勉強の方も順調にいくと思います。友達は大切にしましょう。

大学科5年 遠藤 紘美5年間を振り返ると、悩んだことばかり思い出されます。物質に入学したのに化学がわからない、3年ではコース分けで本当に悩みました。でも、進路に関しては、直感であっさり決めてしまい、あまり悩んだ記憶がありません。3年生の時、先輩が書いた作文を読んで「花王」から求人が来る事を知り、知っている先輩の300字の作文を読んで、私も「花王」に就職しようと決めたのです。それまでも花王という会社は知っていましたが、自分の就職先としては意識したことはありませんでした。進路の決定にすごく悩むのは当たり前ですから、私のような人間は本当に幸せだと思います。1つ言えるのは後悔しない決断をすることです。私の勤務先は和歌山ですが、私の直感に後悔はありません。

建設環境工学科5年 横山 弘武 私は昨年、兼ねてから希望していた東日本旅客鉄 道株式会社に内定することができた。念願を叶える 過程で大事であると思った点を述べる。

まず、早い段階から率先して情報収集を行うことだ。校内で求人情報が公開されるのは4月からであり、それを待っているとスタートから遅れをとってしまう。インターネットの就職情報サイトでは、前年の秋口から就職情報を公開しているため、自分が進みたい進路を見据えておくことが大事だと思う。また、就職試験では適性検査でSPI検査を行う企業も多数あるため、その対策も事前に進めておくことも必要だと思う。

後輩の皆さんも、早めの行動に心がけて希望する 進路に進めるようにがんばってください。

コミュニケーション情報学科5年 宮川 史也 私は卒業後、大学に編入学します。希望の進路実現には、受験勉強や面接練習に多くの時間を費やし、犠牲にせざるを得ない事も出てきます。入学直後から吹奏楽部で活動していた私は最後の一年間の演奏に対する強い思いがありました。受験と部活動一どちらも長時間の拘束を伴う2つを同時にこなすためにも、私は「高専生推薦枠編入」を選びました。そのお陰で、大学へも無事合格でき、部活動にも最善を尽くすことができました。高専の5年間は一見長いようですが、とても短いものです。たった5年間しかない限られた高専生活を通して打ち込んだ、かけがえのない経験と共に卒業を迎える瞬間こそが、卒業生としての冥利に尽きるときではないのでしょうか。

機械・電気システム工学専攻2年 佐々木 修平 専攻科の二年間は大半を特別研究に費やし、学校 の発表会以外に学会発表を5回行いました。電気学 会の発表では、東北大学の研究と自分が研究してい る内容が近い趣旨であることを知り、大学院に進学 してこのまま研究を継続していきたいと興味を持ち、 推薦入試を受け合格しました。

学部への入学はセンター試験や編入学試験などの 競争率の高い狭き門を通らなければならないけれど、 専攻科からの大学院への推薦入試は研究に対する姿 勢や意力を主眼にしているので、特別研究の延長ま たは最先端技術を研究したいという気持ちがあれば、 大学院への道が開けると思うので、後輩の皆さんに も一つの進路として専攻科からの進学を考えてみて ほしいと思います。

退職者のことば

福島高専を退職される教職員の皆さん。ありがとうございました。



機械工学科教授 石垣 義尚

昭和42年4月に平高専採用の辞令を頂いてから41年にもなりました。第1回生が卒業する、私が着任するで2回生からの付き合いになります。着任してすぐに用意するものはガリ版と鉄筆、そろばんと計算尺でした。校舎の周りには何もなく、初代校長は学校の歴史と伝統は卒業生と共に成長する木々もその要素の一つであると百年後の学校を夢見てたくさんの木々を植え

たものです。今ではかなりの大木になりなりましたがまだ道半ばです。さらに歴史と伝統を積み上げて下さい。すばらしい学生諸君と巡り会えたことに感謝し、誇りに思います。また教職員の皆様には大変お世話になりありがとうございました。福島高専の益々の発展をお祈りいたします。



コミュニケーション情報学科教授 内山 昭代

平成7年度からコミュニケーション情報学科に就任、13年間在職しました。当時は東京でブックデザイナーとして活動していましたので、教育現場で10年以上も過ごすとは予想もしていませんでしたが、現在はいわきの美しい空と海と緑の自然環境、山海の美味な食材にすっかり馴染んでしまいました。高専では暗中模索の状態でしたが、"虚心坦懐の心"で学生に向かう事

で、授業を通して個性豊かな作品に出会え、純粋な学生達に囲まれて、大きなエネルギーを貰ったと思います。教職員の皆様にも大変お世話になりまして感謝しています。皆様の今後の御活躍を願っています。



技術部専門員 髙木 克久

われわれ、世間で言われている団塊の世代です。その時代生まれは、人は多く、物は乏しく、今みたいに便利ではないが、 貪欲に何かを求めていた気がします。また、団塊という文字通り「塊」で行動することが多く、すごく仲間意識が強かった様にも思えます。かつて、本校に存在した職員野球部を想起すると、経験者も少ない下手なチームがいわき市の代表として県大

会に2度も出場できたのが不思議です。「努力」は勿論、「チームを思う気持ち」、それが自分 達の心を一つにして、成し得たことと痛感しています。

福島高専の飛躍はわれわれの願望であり、お互いの協力の下、すばらしい福島高専であることを希望しています。

技術部専門職員 舟山 義一

昭和41年平高専に採用となり、この3月退職を迎えることになりました。最初は戸惑いの連続でしたが、恵まれた環境で仕事をすることが出来ました。昭和45年に小名浜地区のカドミウム汚染調査に始まり、小名浜港、河川、大気調査、賢沼の調査は16年行いました。この間、昭和54年には環境科学教育研究センターが竣工し、最新の分析装置が設置され、地元企業からの

分析依頼や相談がたくさんありました。退職を迎えるにあたり、この長い日々をつつがなく過ごせたことに対し、厚くお礼申し上げます。長い間ほんとうにありがとうございました。



技術部専門職員 芳賀 俊彦

私が本校に採用されたのは昭和41年5月のことでした。あれから41年と数ヵ月の歳月が過ぎ去ろうとしています。初めて学生に接したのはゴールデン・ウィークがすぎ、17倍の競争率を突破して入ってきた1期生の卒業研究からでした。私も若かったので1週間徹夜で付き合ったこともありました。学生と兄弟のような感覚で過ごした楽しい日々(サッカー指導も含めて)を、

多くの思い出として残すことが出きました。技術職員の仕事は理解されない面が多いのですが、低学年生の実験指導、卒研の補助、研修会参加や研究発表と最近ますます重要になり、色々な所で活躍が期待されています。技術職員の皆さん頑張ってください。最後に、新しい時代に向って福島高専の益々の発展と教職員の皆様のご活躍を祈念いたします。



学生課学生支援係長兼寮務係長 石井 和利

昭和41年に高専に奉職してから42年間勤めさせていただき、 この度、無事に定年を迎えることができました。

また、在職中にはいろんな係に携わらせていただき教職員の 皆様にお世話になりました。おかげさまで大過なく過ごすこと ができ、感謝申し上げます。

高専も独立行政法人となり色々と難しく大変なことになって

きておりますが、教職員の皆様には今後の高専の発展のためにご尽力いただき、ご健康で活躍 されますよう祈念して退職の挨拶とします。



総務課調達係主任 山野辺 憲子

昭和41年に本校に勤務し、調達係が最後の係となりました。 用度係時代を含めて2回目です。昭和62年12月に土木工学科棟 (現・建設環境工学科)で発生した火災により、毎日遅くまで 残業した時のことが今でも一番思い起こされます。また、現在 の財務会計システムがスタートした時、システム操作の複雑さ に不安にもなりましたが、なんとか軌道に乗ることができまし

た。41年間多くの方々に支えられ、暖かいご支援ご指導を頂き感謝しております。福島高専の益々の発展と、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り致します。













福島高専保有の「母子想像」が経済産業省の 「近代化産業遺産」に認定されました。

福島高専が保有する「母子想像(佐藤忠良作)」が、去る11 月30日、経済産業省の発表した「近代化産業遺産」に認定さ れました。今年度この認定を受けたのは、幕末から終戦にか けて日本の産業発展に貢献した歴史的な工場跡や港湾鉱山な ど575件あり、「母子想像」は本州最大の埋蔵量を誇った福島 県いわき市の常磐炭田関連遺産の一つとして認定を受けまし た。



福島高専が国民生活金融公庫と産学連携協定を締結しました。



福島高専と国民生活金融公庫との産学連携の協力推進 に関する覚書の調印式が去る12月3日に執り行われまし た。同公庫では、現在までに全国14大学との間で覚書を 締結していますが、高専との締結は全国でも初めてです。 今後は地域の情報を交換しながら福島高専の研究成果等 の技術シーズと中小企業等のニーズとのマッチング、技 術相談などを行っていきます。

いわき市との共催で専攻科生特別研究成果公開発表会を実施しました。

去る1月30日、専攻科2年生の特別研究成果公開発表会をいわき市と共催でいわき市産業創造館にお いて実施しました。今回の発表会では地域に密着した研究内容の成果をポスターセッションで20名の学

生が発表しました。市民企業・官庁・保 護者等250名程の来場者からの質問に分 かりやすく説明しました。また、今回初 めての試みとして、地元企業4社が参加 し製品開発例等を発表したほか、福島高 専産学官連携コーティネータによる技術 相談会も行われ地元企業が相談に訪れま した。来場者からの投票により選出され る最優秀ポスター賞にはビジネスコミュ ニケーション学専攻の岡崎奈津美さん 「福祉産業におけるビジネス展開に関す る一考察(いわき市を事例に)」が選ば れました。



刀匠によるモノづくり技術の実技披露と技術討論会を実施しました。



2月5日「匠の技」についての機械 工学科特別授業として、刀匠の藤安正 博(将平)氏による刀の製作工程の実 技披露と討論会が行われました。今回 は本校関係者のほか学外者へも授業を 公開し、近隣の中学校教員等多くの聴 講者が訪れました。

また、刀匠がこれまで手がけてきた 5尺3寸の長刀なども披露され、学生 との技術討論会では、刀作りの難しさ、 製作時間、苦労したことや楽しかった こと、価格などについて活発な討論が 行われました。

福島高専地域フォーラムー教育改革の優れた取組み(GP)ーを開催しました。

福島高専では市民や地域企業の方々に本校についてよ り理解を深めてもらい、今後の地域との連携や交流をさ らに進展させることを目的として「福島高専地域フォー ラム」を定期的に開催しています。平成19年度は第1回 「第7回福島県中学生ロボット競技会「特急便」」、第2 回「専攻科特別研究公開発表会」、第3回「産学連携の つどい」にひきつづき、第4回となる「教育改革の優れ た取組み (GP)」を開催しました。

福島高専では平成19年度に「新たな社会的ニーズに対 応した学生支援プログラム(事業名:マルチメディア活 用型ピアサポートシステム)」、「現代的教育ニーズ支援 プログラム紹介(事業名:マーケティングを意識した技 術者教育)」、「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プ ログラム(事業名:地域の環境資源を活用した教育の実 践ができる小学校教員などの養成プログラム)」が新規 採択されました。今回の合同フォーラムでは、上記3つ のプログラム紹介に加え、高専IT教育コンソーシアム運 営委員長の今井高知高専教授を迎えて、高等教育機関に おけるICT教育について講演をしていただきました。



そのほかのニュースは本校のホームページを御覧下さい。 福島高専HP

http://www.fukushima-nct.ac.ip/

